

平成27年10月29日(木)
国土交通省関東地方整備局

記者発表資料

平成27年度第4回 関東地方整備局事業評価監視委員会の開催結果について

関東地方整備局では、平成27年10月28日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議の結果、再評価案件9件について、8件が対応方針(原案)のとおり了承され、1件は継続審議となりました。

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) →募集・情報公開→公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、千葉県政記者会、
都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151 (代表)

企画部技術企画官 いしおか石岡 つとむ勉 (内線3126)

企画部 企画課 課長補佐 たかはし高橋 いわお岩夫 (内線3153)

(別紙)

平成27年度第4回 関東地方整備局事業評価監視委員会

議事概要

1. 日 時 平成27年10月28日(水) 16:20~18:40
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 「災害対策本部室」

3. 出席者

[委員長]

家田 仁 (東京大学・政策研究大学院大学教授)

[委員]

朝香 博 (東京商工会議所地域振興部長)

大野 栄治 (名城大学都市情報学部教授)

清水 義彦 (群馬大学大学院理工学府教授)

堤 マサエ (山梨県立大学名誉教授)

若松 加寿江 (関東学院大学理工学部教授)

[特別委員]

青山 佳世 (フリーアナウンサー)

(敬称略、五十音順)

[関東地方整備局]

局長 石川、副局長 藤井、総務部長 岩下、企画部長 安田、
道路部長 村山、営繕部長 吉野、用地計画官 武市 他

[東日本高速道路株式会社]

建設・技術本部長 遠藤、関東支社支社長 横山、
関東支社建設事業部長 田中 他

4. 議事概要

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局 副局長

(2) 審議

1) 再評価

a 対象事業の概要説明

- ・ 河川事業 7 件、道路事業 2 件の概要説明

b 対応方針（原案）の審議

- ・ 事務局より説明された再評価案件 9 件は、以下のとおり、8 件が対応方針（原案）のとおり了承とし、1 件は継続審議とする。

<評価対象事業>

事業名	重点案件	事業箇所名	事業主体	対応方針 (原案)	審議結果
河川		那珂川特定構造物改築事業(JR 水郡線橋梁及び水府橋架替)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		荒川下流特定構造物改築事業(京成本線荒川橋梁架替)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
	○	荒川総合水系環境整備事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		利根川総合水系環境整備事業(利根川・江戸川環境整備)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		利根川総合水系環境整備事業(鬼怒川環境整備)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		利根川総合水系環境整備事業(小貝川環境整備)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
	○	富士川総合水系環境整備事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
道路		一般国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道(川島～五霞)	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	対応方針(原案)のとおり了承
	○	一般国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	継続審議

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業